

WebSphere. software

Edge Components V7.0 Load Balancer for IPv4 and IPv6 インストールガイド on Linux

ver. 1.0



日本アイ・ビー・エム株式会社
ソフトウェア事業

2009 年 9 月

目次

1. はじめに 1

2. 事前の準備 2

 2-1. ハードウェアおよびソフトウェア前提条件 2

 2-2. インストール開始前に確認しておくこと 2

 2-3. 旧バージョンのアンインストール 2

3. Load Balancer V7.0 のインストール 3

 3-1. コマンドラインによるインストール手順 3

 3-2. GUI によるインストール手順 4

4. 修正プログラム(V7.0.0.x)のインストール 8

5. 参考資料 9

修正履歴

日付	バージョン	修正履歴
2009/09/30	1.0	初版

1. はじめに

当文書は WebSphere Application Server Network Deployment V7.0 に同梱されている Edge Components V7.0 の Load Balancer for IPv4 and IPv6 を Linux 上でインストールするまでの最少の手順を示したものです。各手順の詳細につきましては、Information Center をご覧ください。

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/wasinfo/v7r0/topic/com.ibm.websphere.edge.doc/welcome.html>

当文書はできる限り正確を期して作成しておりますが、製品の稼動を保証するものではありません。IBM からの正式な技術サポートは、お客様との保守契約に基づいてご提供いたします。

また、構成ガイドにつきましては、別途資料がございますので、そちらをご参照ください。

2. 事前の準備

2-1. ハードウェアおよびソフトウェア前提条件

最新の稼動要件は

<http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=180&uid=swg27006921>

に記載されておりますので、必ずご確認ください。

また、NIC の二重化構成のサポートについて以下の文書が公開されておりますので、あわせてご確認ください。

【注意事項 - Edge Components Load Balancer V6.1/V7.0】サポート情報の更新について
(WAS-09-025)

<http://www.ibm.com/jp/domino01/mkt/cnpages1.nsf/page/default-000A6F6C>

Load Balancer V7.0 for IPv4 and IPv6 では、Load Balancer と一緒に Java 2 SDK が自動的にインストールされます。そのため、事前に Java 2 SDK をインストールしておく必要がなくなりました。

2-2. インストール開始前に確認しておくこと

Load Balancer を同じシステムに 2 個インストールすることはできません。以前のバージョンの Load Balancer がインストールされている場合、Load Balancer for IPv4 and IPv6 のインストール・プロセスを開始する前に、Load Balancer をアンインストールします。

マシンに初めて Load Balancer をインストールする場合は、手順 3 へお進みください。

2-3. 旧バージョンのアンインストール

1. 管理者、または管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. executor および管理サーバーが停止していることを確認します。
3. インストールされた旧バージョンを確認するには、以下のコマンドを使用します。

```
# rpm -qa | grep <LB のパッケージ名>
```

<LB のパッケージ名>には、以下を使用します。

- Load Balancer for IPv4 and IPv6 を導入済みの場合 ibmulb
- Load Balancer for IPv4 を導入済みの場合 ibmlb.

4. 製品をアンインストールするには、以下のコマンドを使用します。

```
# rpm -e <3 で表示された LB のパッケージ名>
```

5. アンインストールは以上になります。

3. Load Balancer V7.0 のインストール

インストールにはコマンドラインから行う方法と、GUI で行う方法の二通りがあります。

3-1. コマンドラインによるインストール手順

1. 管理者、または管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. WebSphere Application Server Network Deployment V7.0 の IBM Edge Components for IPv6 V7.0 for Linux の CD を挿入し、以下のコマンドでマウントします。

```
# mount /dev/cdrom /media/cdrom  
# cd /media/cdrom/EDGEIPV6/lin_ia32/lb
```

※ 表記には EDGEIPV6 とありますが、こちらが Edge Components V7.0 Load Balancer for IPv4 and IPv6 に当たります。

※ 32bit/64bit はお客様の環境に合わせてご選択ください。64bit 版は/EDGEIPV6/lin_ia64/lb ディレクトリにあります。

3. rpm コマンドでパッケージをインストールします。

```
# rpm -ivh <packagename.rpm>
```

以下のパッケージをインストールします。

ベース	ibmulb-base-7.0.0-0.noarch.rpm
Dispatcher	ibmulb-disp-7.0.0-0.noarch.rpm
ライセンス	ibmulb-lic-7.0.0-0.noarch.rpm
ネイティブ	ibmulb-native-7.0.0-0.i386.rpm
メッセージ	ibmulb-ja_JP-7.0.0-0.noarch.rpm
	ibmulb-en_US-7.0.0-0.noarch.rpm

※ 修正プログラムを適用する予定の場合、ここでは、ライセンス・パッケージのみを導入することもできます。

4. 製品がインストールされたことを確認します。以下のコマンドを入力します。

```
# rpm -qa | grep ibmulb  
ibmulb-base-7.0.0-0  
ibmulb-disp-7.0.0-0  
ibmulb-lic-7.0.0-0  
ibmulb-native-7.0.0-0  
ibmulb-en_US-7.0.0-0  
ibmulb-ja_JP-7.0.0-0
```

5. コマンドラインによる Load Balancer V7.0 のインストールは以上で終了です。引き続き修正プログラムを導入します。

3-2. GUI によるインストール手順

1. 管理者、または管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
2. WebSphere Application Server Network Deployment V7.0 の IBM Edge Components for IPv6 V7.0 for Linux の CD を挿入し、以下のコマンドでマウントします。

```
# mount /dev/cdrom /media/cdrom  
# cd EDGEIPv6/lin_ia32/
```

3. インストール・ウィザードを開始します。

```
# ./install
```

4. ウィザードが立ち上がります。「次へ」をクリックします。



5. 「プログラムの使用条件」を最後まで読み、「IBM および第三者が提示する条件に同意します。」にチェックをし、「次へ」をクリックします。使用条件に同意いただけない場合には本製品を利用することができません。



6. 言語選択画面で日本語をチェックし、「次へ」をクリックします。



7. セットアップ設定画面で、「カスタム」にチェックし、「次へ」をクリックします。



8. インストールするフィーチャーを選択します。ここでは Dispatcher のみをインストールするので、ライセンスと、Base と、Dispatcher にチェックし、「次へ」をクリックします。



9. インストールの内容確認画面で、インストール内容を確認し「次へ」をクリックします。



10. 「インストールは正常に完了しました。」と表示されたら、「終了」をクリックします。



11. GUI による Load Balancer V7.0 のインストールは以上で終了です。引き続き修正プログラムを導入します。

4. 修正プログラム(V7.0.0.x)のインストール

1. 修正プログラムを入手します。

最新の修正プログラムについては、パスポート・アドバンテージへお問い合わせください。

Load Balancer の iFix 情報については、以下のページもご参照ください。

Edge Components Load Balancer iFix 情報

<http://www.ibm.com/software/ip/websphere/download/ifix/was/edge/>

2. 任意の場所にダウンロードした修正プログラムを以下のコマンドで解凍します。

```
# tar -xvzf ibmulb-7.0.0-5-Linux-i386.tar.gz
```

3. 以下のコマンドで修正パッケージのインストールをします。

```
# rpm -Uvh ibmulb-base-7.0.0-5.noarch.rpm
# rpm -Uvh ibmulb-disp-7.0.0-5.noarch.rpm
# rpm -Uvh ibmulb-native-7.0.0-5.noarch.rpm
# rpm -Uvh ibmulb-lang-en_US-7.0.0-5.noarch.rpm
# rpm -Uvh ibmulb-lang-ja_JP-7.0.0-5.noarch.rpm
```

※ 修正プログラムでは、ライセンス・パッケージ (IBM Load Balancer lic package) は提供されません。

4. 以下のコマンドを入力して製品がインストールされたことを検査します。

```
# rpm -qa | grep ibmulb
ibmulb-lic-7.0.0-0
ibmulb-disp-7.0.0-5
ibmulb-base-7.0.0-5
ibmulb-native-7.0.0-5
ibmulb-lang-en_US-7.0.0-5
ibmulb-lang-ja_JP-7.0.0-5
```

※ **ibmulb-lic** はライセンスであり修正プログラムでは適用しないため、**7.0.0.0** と表示されます。

5. 修正プログラムの導入は以上で終了です。構成方法については、別紙の構成ガイドをご参照ください。

5. 参考資料

以下は Edge Components Load Balancer に関するサポート情報のリンクです。

1. Edge Component Load Balancer iFix 情報
<http://www-06.ibm.com/software/jp/websphere/download/ifix/was/edge/>
2. Edge Components Load Balancer Information Center
<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/wasinfo/v7r0/index.jsp?topic=/com.ibm.websphere.edge.doc/welcome.html>